

1986-87年度

会 長 方 針

会長 田 中 義 明

ロータリーの原点「親睦と奉仕」の精神を基本に1986～7年度国際ロータリー
会長、M.A.T. カパラス氏の主張するロータリーは希望をもたらすに沿って一人一
人の会員が希望の光を求めて、この追求と実行を今年度の目標とする。

このことを実行するため、特に次の活動の充実を期する。

1. 委員会対策

- (1) 原則として毎月1回、第1回例会日のあと、理事会を開催する。
- (2) 必要に応じ各種委員会を招集する。
- (3) 会長は委員会の長と単独又は複数で協議することがある。

2. クラブ運営

上記を更に具体的にすすめるため、下記について特に力を注ぐ。

- (1) 社 会 奉 仕 地域に密着した社会奉仕の検討。
- (2) 青 少 年 奉 仕 ボーイスカウトの一層の強化育成。
R Y R A 活動への協力。
- (3) 国 際 奉 仕 米山奨学会。
- (4) クラブ奉仕B 数より質に重点を置いた会員の増強。
- (5) クラブ奉仕A テーブル会の開催。